

寄附者の皆様へのメッセージ

（奨学金受給者・高校2年生の方より）

この度は、東日本大震災みやぎこども育英基金奨学金に寄附していただきありがとうございます。私は現在母子家庭で健康的に日々生活を送れています。生活を安泰に送れているのは、寄附して下さった皆様のおかげです。

高校ではテストで上位を取るために日々計画的に勉強し、2年生になった今は部活を辞めて、一筋に専念しています。人と接触するのは苦手な方ですが、中学生の頃にできた友達や、高校生になってから同じ目標に向かって進んでいる友達と仲良くできたおかげで、毎日充実した生活を送れています。

母子家庭で辛い経験を何度もしながらも、一生懸命育ててくれたお母さんに感謝し、今まで寄附して下さった方々からの恩恵に応えていくために、これからも努力を惜しまずに頑張っていきたいと思います。

（奨学金受給者・大学1年生の方より）

今まで支援をして下さってありがとうございました。私は現在高校を卒業し、今年から大学生となります。

私は昔から勉強が苦手で、努力することもほとんどありませんでした。しかし、看護師になるという目標ができてから、自分の志望する大学の合格に向けて勉強を頑張ってきました。そして大学に合格し、看護師になるための一歩を進むことができました。

私は今受験が終わって、趣味である絵をたくさん描いています。大学生になってからは看護の勉強で忙しくなることもあると思いますが、立派な看護師になるために努力を欠かさないようにしたいと思います。

（奨学金受給者・大学2年生の方より）

いつも支援していただきありがとうございます。

現在は大学生活も慣れてきて、学業とアルバイトの両立を頑張っています。

また、資格取得のための勉強にも励んでいます。

今後とも引き続きよろしくお願いいたします。

（奨学金受給者・保護者の方より）

東日本大地震から 13 年になりました。

本人は当時、母のお腹の中で、兄が 1 歳、父が消防団だったので、会えなかったですが段々、父に似てきました。

寄附をして下さったおかげで、元気に学校へ登校してお友達もいっぱいできました。本当に有り難う御座います。

（奨学金受給者・保護者の方より）

震災から早いもので 13 年が経ち、当時 5 歳で幼稚園児だった娘も 18 歳になり専門学生になりました。

震災当時は父親を亡くしてこの先どう生きていこう…と日々悩んで苦しんでいましたが、寄附していただいた皆様のおかげで娘を成長させることができました。凄く助かり感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。